

定員
先着180名
申込み 8月23日
入場無料

がんになっても 「生きる力」を

国民の半分ががんを経験する時代、がんを抱えながら生活する人は珍しくなくなりました。治療法は進歩し、つらい症状を和らげる緩和ケアが提供されるようになり、がんの治療環境は少しずつよくなっているように思えます。しかし、今もなお、がんになること、治療を続けることは大きなストレスであり、幸いにがんが治癒したとしても、生きる力を持ち続けることには、別のエネルギーが必要になります。

今回、お二人のがん経験者をお呼びし、彼らの生きる力、その源が何かお聞きする機会を設けました。お二人の話から、我々も生きる力、勇気をもらえるものと思います。

たくさんの方のお越しをお待ちしております。



14:00 開会挨拶

第1部 14:10～15:10

司会 旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 阿部 泰之



「キャンサーズギフト ～人生は自分自身で決める」

久田 邦博氏 慢性骨髄性白血病病サバイバー
がんピアサポーター、三重大学・名城大学非常勤講師

名城大学薬学部卒業。薬剤師。38歳の時に慢性骨髄性白血病を発病。幼い4人の息子と愛する妻の生活を守るため、目標年数を決め治療方法を医師に提案する。目標年数達成日、ショック状態となり、死を受け入れたが、翌日スッキリと目覚めた。与えられた命でパワフルに活動を再開。医療従事者に向けて患者とのコミュニケーションのあり方を500回以上講演。また、がんになっても楽しく生きる方法を講演。愛称はクニ坊。元気を生み出す呪文は「しあわせです。感謝」。

第2部 15:20～16:20

司会 旭川医科大学 整形外科学講座 丹代 晋



「いのちが輝く 夢への挑戦」

谷 真海氏 骨肉腫サバイバー
サントリーホールディングス株式会社CSR推進部

2001年冬、骨肉腫を発症、2002年4月に右足膝下を切断し義足の生活に。治療とリハビリを経て、スポーツを再開し、走り幅跳びで2004年アテネパラリンピック、2008年北京パラリンピック、2012年ロンドンパラリンピックと3大会連続出場。2013年の国際オリンピック委員会（IOC）総会では、プレゼンターとして2020年東京五輪招致に貢献した。2014年に結婚、2015年には出産を経験し、2016年パラトライアスロンへの転向を表明。2020年東京パラリンピック出場を目指し競技に取り組んでいる。

平成 29 年

8月26日(土)

開場 13:30 開演 14:00

旭川市市民活動交流センター
CoCoDe ホール

旭川市 宮前1条3丁目3-30
TEL 0166-74-4151

- 手話通訳
お早めにお問合せください。
- 道民カレッジ連携講座
2単位です。



◎申込先: 旭川医科大学研究支援課企画係 E-mail rs-kp.g@asahikawa-med.ac.jp · TEL 0166-68-2262 · FAX 0166-66-0025
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム TEL&FAX 0166-26-0338

①申込人数②申込代表者氏名・連絡先(住所・電話番号またはE-mailアドレス)③手話通訳希望、道民カレッジ番号等
※お申込ご連絡先へ本学主催公開講座等の案内をお送りする場合がございます。ご不要の際はお申し出ください。

市民公開講座 **がんになっても「生きる力」を**
平成29年8月26日（土）14:00～16:20 開場13:30
旭川市市民活動交流センター CoCoDeホール（旭川市宮前一条3丁目）

参加申込書

申込期限 平成29年8月23日（水）

- ★ お申込時にいただいたご連絡先へ、本学開催の講座等の案内をお送りすることがございます。
ご不要の際はお申し出ください。
- ★ 定員（180名）に達した場合、お申込みを締め切らせていただくことがございます。

お申し込み代表者

- ① お名前 []
- ② ご住所 []
- ③ ご連絡先電話・FAXまたはE-mailアドレス
[]
- ④ 申込人数 [] 名

以下は、該当する方のみご記入をお願いします。

★ 手話通訳

- 希望あり

★ 道民カレッジ連携講座の単位認定

- 希望あり

カレッジ生の手帳番号 [] [] []

申込

旭川医科大学研究支援課研究企画係

E-mail : rs-kp.g@asahikawa-med.ac.jp

TEL:0166-68-2262 FAX:0166-66-0025

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム TEL&FAX 0166-26-0338

主催：旭川医科大学病院緩和ケア診療部

共催：旭川医科大学整形外科学講座、旭川医科大学スポーツ医科学研究委員会